



2024年2月20日

各 位

会 社 名 三 和 油 化 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 柳 均
(コード番号：4125 東証スタンダード・名証メイン)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 経 営 管 理 部 長 熊 崎 聡
(TEL 0566-35-3021)

子会社の異動（合弁会社の設立）に関するお知らせ

当社は、2024年2月20日開催の臨時取締役会において、エア・ウォーター・マテリアル株式会社と合弁会社を設立することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

また、当該合弁会社の資本金額が当社の資本金額の100分の10以上に相当し、同社は当社の特定子会社に該当する予定ですので、併せてお知らせいたします。

記

1. 合弁会社設立の理由

当社グループは、「環境ニーズを創造する」をテーマに事業展開しており、サステナブル社会の実現に貢献することを通じて、「社会から必要とされる環境リーディングカンパニー」となることを目指しております。また、2030年度に向けて策定した「グランドビジョン2030」では、売上高及び利益を倍増させるという目標を掲げ、それを実現するための施策の1つとして、九州地区に新工場を建設することを検討してまいりました。

九州地区は、半導体関連企業の工場建設や設備投資が急速に行われており、それらの稼働に伴い多くの化学材料が使用され、また多量の産業廃棄物が発生すると予測されるため、資源のリユース・リサイクルに対するニーズはますます高まってまいります。また、エア・ウォーター・マテリアル株式会社は、半導体産業を中心に高純度化学薬品やあらゆる産業に必要な不可欠な基礎化学薬品、産業ガス等を販売する専門商社であり、広島以西、特に九州地区においては複数の拠点及びインフラに加え、充実した販売網・コミュニティを保有していることから、同社と協業することは互いに大きなシナジー効果があると期待されます。

この度、合弁会社を設立し、約60億円を投じて九州地区に新工場を建設することで当該地区の需要を取り込み、海外からの輸入依存度が高い化学材料を国内で資源循環していく取り組みを通じて、サステナブル社会の実現に貢献してまいります。

2. 出資会社の役割

当社及びエア・ウォーター・マテリアル株式会社は、それぞれが発起人となり、合弁会社を設立し、出資比率に応じて本合弁会社の資金調達に協力するほか、事業運営にあたり必要な支援を行ってまいります。具体的には、産業廃棄物の収集及び再資源化した製品の販売活動、それに必要な営業、技術、製

造、その他間接業務に係る指導・支援及び適切な従業員を外向させること等であります。

また、本合弁会社の役員につきましては、当社及びエア・ウォーター・マテリアル株式会社の役員及び従業員を派遣する予定であります。

3. 合弁会社の概要

(1) 名称	サンワマテリアルソリューションズ株式会社
(2) 本社所在地	福岡県北九州市
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 山本 浩貴
(4) 事業内容	産業廃棄物の処理及び再資源化 工業用薬品全般についての販売
(5) 資本金	450 百万円 (資本準備金 225 百万円含む)
(6) 出資比率	三和油化工業株式会社 : 65% エア・ウォーター・マテリアル株式会社 : 35%
(7) 設立年月日	2024 年 6 月 (予定)
(8) 決算期	3 月
(9) 純資産	450 百万円
(10) 総資産	450 百万円

4. 合弁相手先の概要

(1) 名称	エア・ウォーター・マテリアル株式会社	
(2) 本社所在地	東京都港区浜松町 2 丁目 13 番 7 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 衛藤 昌彦	
(4) 事業内容	下記製品に関する国内販売ならびに輸出入業務 化学工業製品および部品、化学工業薬品、高圧ガス、電気絶縁材料、電気電子材料および部品、機械器具およびシステム製品、食品添加物、各種産業資材、包装材料	
(5) 資本金	150 百万円	
(6) 設立年月日	2015 年 10 月 1 日	
(7) 大株主及び持株比率	エア・ウォーター株式会社 : 99.8%	
(8) 当社との関係	資本関係	記載すべき事項はございません
	人的関係	記載すべき事項はございません
	取引関係	産業廃棄物の適正処理及び再資源化、各種化学製品の販売等における取引がございます
	関連当事者への該当状況	記載すべき事項はございません

5. 日程

(1) 取締役会決議日	2024年2月20日
(2) 合弁契約締結日	2024年3月1日(予定)
(3) 合弁会社設立日	2024年6月(予定)

6. 今後の見通し

当該合弁会社の設立は2024年6月を予定しており、2024年3月期の当社連結業績に与える影響はございません。今後の業績に与える影響につきましては、来期以降の業績予想に織り込んでまいります。

以上